
平面世界

四月

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平面世界

【Nコード】

N 6 4 3 9 P

【作者名】

四月

【あらすじ】

どこにでもいそうな高校1年の二階堂とその親友との微妙な関係これから2人はどうなるか？

微妙な関係（前書き）

自分の記念すべき一作目です。誤字、脱字や小説としておかしいところもあると思いますが、どうか見守ってやってください。

微妙な関係

『僕がもつと気を付けていれば彼は平面世界で暮すようなことにはならなかったのに』

僕の名前は、二階堂^{にかいどう} 大輝^{だいき} 16歳で私立高校の1年をしている、特にとりえもなくただどこにでもいるような高校生だ。成績は、クラスでは中間あたりで特に頭がいいというわけでもない。

「大輝く」いつものように僕の幼なじみの田島^{たしま} 雄介^{ゆうすけ}が話しかけてきた。僕はそれに面倒くさいながらも「雄介、何か用」とこたえる。雄介はすぐに「今日遊べる？」と聞いてきた。その問いに僕はNOと答える。もう何回これと同じ会話を繰り返したことが、なのこいつは何回も飽きずに同じことを繰り返す。昔は、よく遊んでいたが今は違う?? というか僕は雄介の母親にとっても嫌われている、「雄介に近づくかないで」と言われたこともある。実際のところ原因を作ってしまったのはほかでもない僕だから僕は何も言えない。そんなわけで僕は雄介の母親に言われたことに従い雄介の誘いを何回も何回も断ってきたのだ。それから雄介は、休み時間が終わると同時に自分の席に戻って行った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6439p/>

平面世界

2011年1月4日01時17分発行